

授業科目	こどもの保健演習（Aクラス）				単位	1			
履修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH21306J			
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP5-3				
担当教員	藤田 稔子								
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として特に疾病を持った子どもたちへの看護実践や、保健師および衛生管理者としての保健業務の経験を活かし、保育者として身につけておくべき子どもの健康および安全にかかわる知識技術について、実践的演習で授業を展開していきます。特に本科目は、既習「こどもの保健1」「こどもの保健2」で得た知識を実践学に展開する科目であり、保育にとって重要な要素である、乳幼児の生命保持と情緒の安定を図る養護に重要な技術ばかりです。</p>								
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域保健活動と保育との関係が理解できる 2. 子どもの保健に関連する様々な技術（生活援助、健診、健康観察、体調不良時の対応等）が身につく 3. 救命救急処置および応急処置法が身につく 4. 保育現場における災害をはじめとする危機管理の具体的な対応がわかる 5. 保育現場における保健活動の計画および評価ができる 								
達成度評価									
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	0	0	30	70	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)					20		20		
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)					10	70	80		
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
根拠に基づく各種技術や応急処置法の基本的なスキルが身についている。また、園における保健計画が立案できる。					基本的な技術や応急処置法が指示通りできる。また、園における保健計画を考えることができる。				
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)	

1	<p>テーマ:オリエンテーション・「こどもの保健 1・2」の復習・こどもの発育・発達の観察と評価・こどもの健康観察と健康管理</p> <p>本科目のオリエンテーションをしたのち、今までの学びを用いて、園でおこなわれる日常の健康観察や年度初めに実施する健康診査に関する演習をおこないます。また、母子健康手帳についても解説します</p>	<p>オリエンテーション 講義 実技演習</p>	<p>予習 1:シラバスを読んでくる 予習 2:教科書 1～43 ページを読んでくる 復習:体調不良時の連絡帳の書き方の課題をする</p>	30
2	<p>テーマ:子どもの養護と教育①</p> <p>妊婦体験を通して、妊娠期からの育児支援を考察します。また、おんぶの仕方等日常における養護の方法を実技演習します</p>	実技演習	<p>予習:教科書 44～57 ページを読んでくる 復習:妊婦体験をしての振り返りシートを仕上げる</p>	30
3	<p>テーマ:子どもの養護と教育②</p> <p>新生児沐浴、乳幼児の臀部浴の実技演習をします</p>	実技演習	<p>予習:教科書 58～61 ページを読んでくる 復習:沐浴をしての振り返りシートを仕上げる</p>	30
4	<p>テーマ:子どもの養護と教育③</p> <p>食事・排泄・子ども自身ができるようになる清潔行為に関わる養護技術の演習をおこないます</p>	実技演習	<p>予習:教科書 62～89 ページを読んでくる 復習:歯磨きまたは手洗いに関する絵本を探し、活用方法を課題シートにまとめる</p>	30
5	<p>テーマ:子どもの体調不良などへの対応①</p> <p>子どもによくみられる症状に対するのケアの方法を演習でおこないます。特に、発熱時のケアや嘔吐時の処理の仕方について重点的に演習します</p>	実技演習	<p>予習:教科書 90～133 ページを読んでくる 復習:嘔吐時の処理方法を振り返りシートに整理して記述する</p>	30
6	<p>テーマ:子どもの体調不良などへの対応②</p> <p>園での薬の取り扱いについて説明し、用法にあった投薬方法を演習でおこなう。また、特にエピペンの用い方は身につけるように練習する</p>	実技演習	<p>予習:教科書 134～151 ページを読んでくる 復習:アレルギー疾患の子どもへのケアについて振り返りシートでまとめてくる</p>	30
7	<p>テーマ:子どもの体調不良などへの対応③</p> <p>障害がある子どもへの支援(療育の場で必要な医療的ケア含む)に必要な技術を演習でおこなう。また、虐待が疑われる子どもへの対応について事例を用いてロールプレイにより対応を考える</p>	実技演習 演習(ロールプレイ)	<p>予習:教科書 151～169 ページを読んでくる。また、「障がい児保育 1」「障がい児保育 2」の関連事項も復習してくる 復習:ロールプレイの振り返りをし、園としての役割や動きを振り返りシートに整理して記述する</p>	30
8	<p>テーマ:保育における応急手当①</p> <p>子どもの命を護ることについて考え、万が一に備えた救急蘇生法の基本的な知識と日常的に子どもに関わる専門職としての役割について解説します</p>	講義	<p>予習:教科書 170～202 ページを読んでくる 復習:次回からの演習に活用できるように講義で得た知識を整理しておく</p>	30
9	<p>テーマ:保育における応急手当②</p> <p>園内にある救急用具を用いての応急処置方法を演習で身につける</p>	実技演習	<p>予習:教科書 170～202 ページを読んでくる 復習:応急処置をしての振り返りシートを仕上げる</p>	30
10	<p>テーマ:保育における応急手当③</p> <p>園外での救急用具が手元にすぐでない状況での応急処置について演習する</p>	実技演習	<p>予習:教科書 170～202 ページを読んでくる 復習:応急処置をしての振り返りシートを仕上げる</p>	30
11	<p>テーマ:保育における応急手当④【外部講師:日本赤十字社指導員】</p> <p>乳幼児の心肺蘇生法(AED 含む)を習得するため蘇生人形を用いた演習をします</p>	実技演習	<p>予習:教科書 170～202 ページを読んでくる 復習:心肺蘇生法の演習をしての振り返りシートを仕上げる</p>	30

12	テーマ:望ましい保育環境と安全対策① 各種、環境衛生検査を実際実施し、乳幼児の好ましい保育環境について考察する。	実技演習	予習:教科書 203～215 ページ を読んでくる 復習:測定した数値を考察し 振り返りシートを完成させる	30
13	テーマ:子どもの心とからだの健康づくりのために 乳幼児の心身の健康保持増進に欠かせない関係機 関のそれぞれの役割と連携の在り方について解説し ます。また、保健計画の立案に必要な知識について 解説し、グループワークを進めます	講義 演習(GW)	予習:教科書 219～230 ページ を読んでくる 復習:保健計画に基づいてグ ループで保健だよりを作成す る	120
14	テーマ:望ましい保育環境と安全対策②-1 自然災害における危機管理および非常事態における 保育者の動きと、備えについて危機管理マニュアルに 基づき解説し、対策方法を考察します	講義 演習(GW)	予習:教科書 216～218 ページ を読んでくる 復習:「危機管理マニュアル」 の記載項目を整理してくる	30
15	テーマ:望ましい保育環境と安全対策②-2・まとめ 災害による PTSD の子どもの遊び介入についてロー ルプレイを通して理解を深め、メンタルケアの重要性 を考察します。最後に 1 年後期からの「こどもの保健」 の総括をします	演習(ロールプレ イ)	予習:事前に提示された事例 について分からないことは調 べておく 復習:ロールプレイをしての振 り返りシートを仕上げる	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	「こどもの保健1・2」、「保育内容・健康」、「臨床心理学(カウンセリング含む)」、「保育相談支援」などの科目 と関連が深いので、既習の科目は復習をしておいてください。同時開講の科目は、関連性を持って受講してく ださい。			
テキスト	これだけはおさえておきたい！ 保育者のためのこどもの保健Ⅱ、鈴木美枝子(編著)、創成社、2012、2400 円+税			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考教科書：「心とからだを育む子どもの保健 1」 保育出版 保育内容「健康」 ミネルヴァ書房 参考にして欲しい雑誌：チャイルドヘルス
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	技術は、繰り返し練習することで身につくものです。授業時間外の練習を奨励します。また、申し出があれば、時間の許す限り何度でも技術指導は別途おこないます。遠慮なく申し出てください。 また、授業に際しては各種ガイドラインを基に現場を想定して演習をおこないます。常に最新の情報や社会の動き、また、流行している感染症等に関心を寄せて演習に臨んでください。
達成度評価に関するコメント	(1)レポート外の提出物：演習時のノートや教科書への書き込み等を check します。また、各演習で課す振り返りシートの記載内容も評価の対象とします。 (2)その他：演習の内容によって取り組み度の配点異なりますが、演習への参加姿勢を評価の対象とします。各回の配点は、第1回目オリエンテーションの時に提示します。また、本科目最終で問う自己評価も評価の参考とします。